

特別・企業会計の決算状況

(単位:万円)

会計名	歳入	歳出	差引
特別会計			
国民健康保険事業 (国民健康保険事業を運営するための会計)	1,494,501	1,493,919	582
介護保険事業 (介護保険事業を運営するための会計)	1,536,683	1,535,054	1,629
後期高齢者医療 (後期高齢者の医療保険制度のための会計)	288,189	278,765	9,424
合 計	3,319,373	3,307,738	11,635



(単位:万円)

会計名		区分	収入	支出	差引	主な建設改設事業など
企業会計	水道事業	収益的	323,928	308,147	15,781	配水管の整備および 浄水場の設備更新
		資本的	49,030	209,831	▲ 160,801	
	下水道事業	収益的	531,393	471,018	60,375	汚水管、雨水管の整備および 下水処理センターの設備更新
		資本的	173,091	369,572	▲ 196,481	
	市立病院事業	収益的	1,144,588	1,241,908	▲ 97,320	採血業務を安全かつ効率的に行うための 採血支援システムの導入
		資本的	90,171	131,442	▲ 41,271	
	公設地方卸売市場事業	収益的	7,740	8,010	▲ 270	水産物部棟の海水ろ過殺菌装置設置実施設計、 青果部棟の売場床改修
		資本的	249	2,214	▲ 1,965	
	合 計	収益的	2,007,649	2,029,083	▲ 21,434	
		資本的	312,541	713,059	▲ 400,518	

財政健全化比率および資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、財政健全化に関する指標を公表しています。

令和6年度決算の指標は以下のとおりです。

■財政健全化比率	苫小牧市指標	早期健全化基準
実質赤字比率 標準財政規模に対する、一般会計等の実質赤字額の比率	—	11.39%
連結実質赤字比率 標準財政規模に対する、全ての会計の赤字や黒字を合算した「赤字」の比率	—	16.39%
実質公債費比率 公債費（地方債の元金・利子の支払いに要する経費）、公債費に準じた経費の比重を示す比率	8.5%	25.0%
将来負担比率 地方債残高ほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率	79.1%	350.0%

■資金不足比率	苫小牧市指標	経営健全化基準
公営企業ごとの営業収益に対する資金不足の比率		
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	
市立病院事業会計	—	
公設地方卸売市場事業会計	—	

苫小牧市の財政状況

財政運営持続化計画(令和5年度～令和9年度)目標に対する市財政運営の進行状況と、3指標の令和6年度決算の状況についてお知らせします。

1 経常収支比率

■経常収支比率とは？

経常的な支出(人件費や公債費など)に対し、経常的な収入(市税など)がどれだけ充当されているかを示す指標です。この比率が低いほど財政の柔軟性が高く、80%を超えると弾力性が失われるとされています。

計算方法 分子:人件・公債・扶助費など毎年決まって出ていくお金
分母:皆さんの税金や交付税など毎年決まって入ってくるお金

令和6年度 89.7% 目標管理ライン 90.0%以下

2 実質公債費比率

■実質公債費比率とは？

公債費および公債費に準じた経費の標準財政規模を基本とした額に対する比率であり、公債費による財政負担の程度を示す指標です。過去3カ年の平均値で示され、この比率が25%を超えた場合は「早期健全化団体」となります。

計算方法 分子:おおむね市全体会計の公債費(元利償還金)
分母:おおむね市の標準財政規模(国が定める基準)

令和6年度 8.5% 目標管理ライン 10.0%以下

3 将来負担比率

■将来負担比率とは？

公債費および公債費に準じた経費の標準財政規模を基本とした額に対する比率であり、将来の財政負担の程度を示す指標です。この比率が350%を超えた場合は「早期健全化団体」とされ、財政の健全化が求められます。

計算方法 分子:おおむね市全体会計の将来公債費(元利償還金)
分母:おおむね市の標準財政規模(国が定める基準)

令和6年度 79.1% 目標管理ライン 80.0%以下